



**RESTART**  
Challenge More.

# ゆうばり 市議会だより

**49**号  
2020.11



石炭博物館模擬坑道にて、夕張市議会行政常任委員会視察を行い坑道内部の状況を確認、教育委員会担当者より現状の説明を受けました。

## 【令和2年第3回定例会市議会】

議案・意見書 .....	P2
一般質問：本田議員 .....	P2
一般質問：千葉議員・熊谷議員 .....	P3
一般質問：高間議員 .....	P4
決算審査特別委員会大綱質問 .....	P4

## 【令和2年第6回、第7回臨時市議会】

財政再生計画の変更、補正予算の議決 .....	P5
石炭博物館模擬坑道視察 .....	P6
厚真町被災地視察 .....	P6
議長寄稿 .....	P6

# 令和2年第3回定例会

令和2年9月8日～9月18日

令和2年第3回定例市議会は、令和2年9月8日から9月18日までの11日間の日程で開催しました。

4議員が一般質問を行い、会期中決算審査特

別委員会にて令和元年度の決算を審査、決算に対する大綱質問を行い、議案9件、認定7件、報告6件、意見書案8件について審議し、原案のとおり可決いたしました。

## 意見書

- 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書  
提出議員：君島、大山、本田、千葉、高間、今川
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書  
提出議員：君島、大山、本田、千葉、熊谷、高間、今川
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書  
提出議員：千葉、君島、本田、熊谷、今川
- ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書  
提出議員：高間、君島、大山、本田、千葉、熊谷、今川
- 防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書  
提出議員：高間、君島、大山、本田、千葉、熊谷、今川
- 新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書  
提出議員：熊谷、君島、大山、本田、千葉、今川
- 「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める道への意見書  
提出議員：熊谷、君島、本田、千葉、今川
- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書  
提出議員：君島、大山、本田、千葉、熊谷、高間、今川

## 一般質問

### ごみの埋め立てはいつまで可能？

#### 市長 令和15年10月までの見込み

**市長** 令和元年7月に実施した調査結果では、令和15年10月まで埋立可能であると判明した。リサイクル率の低下や大型ごみの増加により期間が短くなる可能性がある。

**市長**

令和元年7月に実施した調査結果では、令和15年10月まで埋立可能であると判明した。リサイクル率の低下や大型ごみの増加により期間が短くなる可能性がある。

**本田** 最新の調査結果における残余量について伺う。

**市長** 4年前と比較して約8%増加している。原因は、リサイクルごみの混入や転居等による大型ごみの増加などが考えられる。

**市長** 近隣市町村で行われている広域処理についての情報収集を始めている。新たに最終処分場を建設する場合、建設までに7年を要すると言われている。リサイクルの徹底等により延命を図りながら情報収集を行っていく。

**市長**

4年前と比較して約8%増加している。原因は、リサイクルごみの混入や転居等による大型ごみの増加などが考えられる。

**本田** 家庭ごみの排出量と今後の見込みについて伺う。

**本田**

家庭ごみの排出量と今後の見込みについて伺う。



本田靖人

**市長** 真谷地リサイクルセンターは、昭和42年に北炭

**市長**

真谷地リサイクルセンター

**本田** 真谷地リサイクルセンターの耐用年数と代替施設建設の検討状況について伺う。

**本田**

真谷地リサイクルセンターの耐用年数と代替施設建設の検討状況について伺う。

**市長** ごみ問題については、市民と行政が一緒に考えていく必要がある。マスタープランは、本年12月までに取りまとめ予定であり、ごみ処理の在り方や施設の更新や建設については、それまでに示しできない状況。

**市長**

ごみ問題については、市民と行政が一緒に考えていく必要がある。マスタープランは、本年12月までに取りまとめ予定であり、ごみ処理の在り方や施設の更新や建設については、それまでに示しできない状況。

**本田** 今後の方針を示す時期とマスタープランに搭載する必要性について市長の考えを伺う。

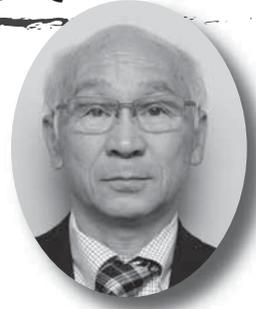
**本田**

今後の方針を示す時期とマスタープランに搭載する必要性について市長の考えを伺う。

真谷地炭鉱が建設した鉄骨造の建物で、耐用年数は25年。すでに建設から53年経過し、耐用年数が28年超過しているが、当面はこの施設を活用していく方針。代替施設については、ごみ処理全体像に含めて検討が必要であると認識している。

# 一般質問

## 教職員の働き方改革の取り組みについて



千葉 勝

時間40分。  
中学校では28時間30分となっております。

**千葉**

在校時間（勤務時間）の客観的に把握する方法について

**教育長**

校務支援システムを導入し、可能な限り早期に導入し在校時間を客観的に把握したい。

**千葉**

定時退勤日の持ち帰り業務の実態について

**教育長**

必要最小限度の持ち帰り業務をしている。

**千葉**

変形労働時間制の導入について

**教育長**

北海道における関係条例の改正を踏まえ、それを経て、夕張市として導入を関係団体と話し合い（意見交換）を行いながら検討したい。

**千葉**

萩生田文科大臣は、先の国会答弁で「今回の

給特法改正で働き方改革は終わりではなく、むしろ始まりである。3年後に実施される教師の勤務実態調査を踏まえて給特法などの法制的な枠組みについて根幹から見直しをします」と述べたように、「上限規制」や「変形労働時間制」の導入では抜本的な超勤解消につながることは明らかだと考えます。

教職員定数の抜本的改善がなされない中「上限規制」を遵守させるには「業務の削減」や「年間総授業時数の削減」が不可欠であると考えます。そのためには、国が教育予算を拡充し教職員定数の充実を含めた教育条件の整備を進めていくことが、子どもたちの豊かな学びにつながると思います。

夕張市教育委員会におかれましては、教職員定数の抜本的改善に向け国や北海道教育委員会への働きかけをお願いします。

夕張市教育委員会におかれましては、教職員定数の抜本的改善に向け国や北海道教育委員会への働きかけをお願いします。

# 一般質問

## 新型コロナウイルス感染症に対する市の対策について



熊谷 桂子

**熊谷**

医療・介護施設・学校等でPCR検査の大規模実施について伺います。

**市長**

本市では現在感染者が発生していないので、必要ないと考えています。

**熊谷**

GOTOキャンペーン等で、観光客の増加とともに、感染リスクは増大することから、PCR検査の大規模実施をお願いいたします。9月4日厚労大臣が「感染流行地域や医療・高齢者施設等での幅広いPCR検査の実施を都道府県に要請する」と発表済みです。国会で山添参議院議員が「無症状者を含めて幅広い検査をすれば予算規模も大幅に膨らみます。政府が自治体負担分を含めて十分な財政保障を確保すべき」と求めたところ、厚労大臣は「地方公共団

体が、予算がないから検査できないということがないようにしたい」と答弁しています。ぜひとも必要な検査はしっかりと実施し、今後感染者が出たとしても、感染を広げないよう最大の施策を要望します。

**熊谷**

市民へのPCR検査を受ける際の交通手段に対する広報について伺います。

**市長**

北海道がHPにおいて感染状況を公表しています。検査を受ける際の交通手段も含めて、電話で相談していただくよう、説明しています。

**熊谷**

検査を受ける際の交通手段について、不安を感じている市民に向けて、わかりやすく安心できる説明を要望します。

**熊谷**

陽性者の隔離、保護治療体制について伺います。

**市長**

陽性者への対処については、感染症法に基

づいて北海道知事の決定のもと、対応していきたくないと考えています。

**熊谷**

市内で陽性者が出た場合、市民への注意喚起とともに、患者や家族等に対する誹謗中傷の防止を積極的に発信していただくよう要望します。

**熊谷**

受診控え等で減収が起きている医療機関への収入の補填や、検査機器、治療機器、介護施設等への感染防止設備の導入に対する補助等抜本的な拡充について伺います。

**市長**

減収の補填については国の持続化給付金事業の申請を広く活用していただけるよう市民周知をしてきたところです。医療機関や介護施設など公共性の高いところには、感染防止のための物品を支給済みです。今後も国の交付金を活用して、医療検査機器や治療機器の導入を補助できないか検討中です。

**市長**

減収の補填については国の持続化給付金事業の申請を広く活用していただけるよう市民周知をしてきたところです。医療機関や介護施設など公共性の高いところには、感染防止のための物品を支給済みです。今後も国の交付金を活用して、医療検査機器や治療機器の導入を補助できないか検討中です。

**市長**

減収の補填については国の持続化給付金事業の申請を広く活用していただけるよう市民周知をしてきたところです。医療機関や介護施設など公共性の高いところには、感染防止のための物品を支給済みです。今後も国の交付金を活用して、医療検査機器や治療機器の導入を補助できないか検討中です。

**市長**

減収の補填については国の持続化給付金事業の申請を広く活用していただけるよう市民周知をしてきたところです。医療機関や介護施設など公共性の高いところには、感染防止のための物品を支給済みです。今後も国の交付金を活用して、医療検査機器や治療機器の導入を補助できないか検討中です。

**市長**

減収の補填については国の持続化給付金事業の申請を広く活用していただけるよう市民周知をしてきたところです。医療機関や介護施設など公共性の高いところには、感染防止のための物品を支給済みです。今後も国の交付金を活用して、医療検査機器や治療機器の導入を補助できないか検討中です。

# コロナ禍における避難所運営のあり方について



高間 澄子

**高間**

避難所の民間施設例えばホテルや旅館等の活用について検討の現状を伺う。

**市長**

地域防災計画で23の施設を指定しており、収容人員は約一万一千人、市民全員が避難できることから、民間施設等の活用は考えていません。

**高間**

コロナ禍に於いての避難所運営も同じように行うのか伺う。

**市長**

国から示す避難所の設営の在り方に準じて取り進めて参ります。

**高間**

避難所の過密状態を防ぐため集まる人数を少なくする必要があり避難を分散させる対応策の検討状況を伺う。

**市長**

避難所が過密状態になることは想定していません。しかし親戚、友人知人宅等分散避難すること、感染拡大抑止に有効な手段と考えている。この後、広報紙等を通じて、市民に協力のお願いを考えております。

**高間**

分散避難した場合の物資の受け取りについて伺う。

**市長**

避難所を開設した場合食料、飲料水、生活必需品等を避難所に供給します。分散避難された方は、直近の避難所に物資を受け取りに行くよう考えています。

**高間**

避難所で配慮が必要と考えるが準備されているプライバシー確保策について伺う。

**市長**

女性に配慮して配慮しなければいけないことは沢山あると考えるが、着替え等には天井付き間仕切りテントを購入し、

最低限のプライバシーの確保が簡易トイレを設置する際、場所を離す等の配慮をする予定です。

**高間**

避難所に器具や備蓄物資の保管場所をどうされているのか伺う。

**市長**

各避難所に備蓄するのが望ましいが、保管スペース等が困難であるため主要避難所の文化スポーツセンター、中学校、本庁舎・消防本部防災倉庫等分散して保管しています。

**高間**

避難者に感染疑いが発生した場合の対応について伺う。

**市長**

感染疑いがある方については主要避難所の文化スポーツセンターはサブアリーナまたは2階会議室、中学校は空き教室、農業研修センターは研修室等に一時待機、保健所の指導を受け病院等に移送を行って参りたい。

## 決算審査大綱質問

### 厚谷市政の就任初年度事業を問う



今川和哉

**今川**

令和元年度の市長所信表明においては、本市の再生に欠かせないキーワードとして、「財政の自立」「行政の自立」「市民との協働」が挙げられておりましたが、この3点を達成するために、令和元年度、実施した事業や、市長就任後に改革的に取り組まれたことについて伺う。

**市長**

財政の自立について、市税をはじめとした収納対策の強化と、ふるさと納税については返礼品の充実、1市4町における連携の取組みをスタートさせた他、夕張へ足を運んで頂くための様々な取り組みを行った結果、令和元年度の寄付額は、約3億8,000万円と過去最高額となった。行政の自立について、

昨年の夏、総務省・北海道・夕張市の3者の事務方が集まった際、本市の行政執行体制にかかる現状と課題について、情報共有と意見交換を行った。また、地方公務員法の改正により会計年度任用職員制度の設計に従事し円滑な移行を図った。

市民との協働について、令和元年度に策定した第二期夕張市地方版総合戦略では、様々な分野の方からご助言を頂くとともに、市民アンケートやパブリックコメントを実施するなど、市民の皆様のご意見を広く聴取し反映に努めた。地域内・地域間における助け合いの仕組みづくりとして小規模多機能自治推進ネットワーク会議に加盟をし、情報収集を図っているほか、自主防災組織作成の働きかけを継続して実施した結果、沼ノ沢地区に自主防災組織が結成された。

**今川**

ふるさと納税寄付額が

昨年度過去最高額になった理由は、どのようなところにあったと分析しているか。

**市長**

令和元年度において特に重点的に取り組んできた内容としては、返礼品の充実として宿泊の招待プラン、地元作家さんのTシャツ、そういったものについてもパンフレットに掲載させて頂き、また夕張へ足を運んでいただく・夕張を知っていただくという意味でもパンフレット・ポスターの作成などを行った。

**今川**

行政の自立を掲げながら一方で副市長を置かない体制を継続したことについて市長はどのように考えているか。

**市長**

財政再生計画の抜本直しを経て、副市長を置くことができない計画になったが、当時の私の判断として、夕張石炭博物館模擬坑道の火災が発

生しているという状況の中にあつて今後消火活動あるいは再開に向けた様々な業務にかかる経費というものも相当想定されるのではないかと

**市長**

いうところもあつて、改めて副市長について置く形をとらずに、道に理事の派遣を改めてお願いして来た。理事の派遣については来年度の春までであるため、それ以降については副市長を配置する方針で手続きを進める。

**今川**

令和元年度の拠点複合施設整備事業、コンパクトシティの推進についての市長の評価、JR石勝線夕張支線が廃線となった後の代替交通夕張高校魅力化事業についての事業内容と市長の評価はどうか。

**市長**

拠点複合施設「りすた」は、まちづくりマスタープランに基づく都市拠点整備のため行政機能や公民館機能、図書館機能、子育て支援機能のほか、南北につながる国道・道

道をつなぐ交通結節点などの複合機能を備えており、都市拠点に賑わいを創出する中核施設として位置づけ、今後におきましては、都市拠点の基本理念であります「笑顔と賑わいのこだまするまち」を達成できますよう

**市長**

拠点複合施設検討チームにご参加を頂きました市民の方々の意見もふまえて活用を促進する。コンパクトシティの推進に関する事業としては、市営住宅再編事業として、宮前泉団地2棟11戸を建設し、宮前町・清

**今川**

陵町の市営住宅74戸を除却。若者・女性の居住ニーズにこたえるため、民間賃貸住宅の建設に補助金を交付し、南清水沢4丁目1棟8戸が建設された。住宅取得等補助金制度を実施し、新築1件、中古住宅取得8件、リフォーム4件が利用された。

**市長**

代替交通について、路線バスを中心とした新たな交通体系の維持及び利用者への利便性向上のため、運行事業者である夕張鉄道株式会社に対し、路線バスが代替交通になったことよってかかる運営経費などについて、北海道旅客鉄道株式会社様からの拠出金を活用した補助を行っているところでございます。代替の路線バスにつきましては、鉄道に比べて運行本数の増加など、利便性が向上したとの声も伺っている。課題として、コープさつぽろ夕張店移転に伴い、清陵町地区の方々の買い物の足に関するご要望を承っており、対応を協議検討している。

夕張高校の魅力化にかかる事業としては、地域に根差した特色ある教育活動を支援するため、夕張高校や生徒が行う活動等にかかる経費についての補助、それから外部講師を招いての講演授業の実施次に公設塾「キセキノ」の運営といった種々の取り組みを行った。

め、運行事業者である夕張鉄道株式会社に対し、路線バスが代替交通になったことよってかかる運営経費などについて、北海道旅客鉄道株式会社様からの拠出金を活用した補助を行っているところでございます。代替の路線バスにつきましては、鉄道に比べて運行本数の増加など、利便性が向上したとの声も伺っている。課題として、コープさつぽろ夕張店移転に伴い、清陵町地区の方々の買い物の足に関するご要望を承っており、対応を協議検討している。

# 令和2年第6回・第7回臨時市議会

## 夕張市財政再生計画の変更と補正予算について

●夕張市財政再生計画の変更と補正予算を可決いたしました。

主な追加事業

- (1)コロナ禍の経済対策として、水道全契約者の基本料金を一律免除する(4ヶ月)経費。
- (2)子育て世代の支援対策として、0歳～18歳の子どもがいる家庭に市内の飲食店で利用できるチケット2枚(1枚1,000円)を配布する経費。
- (3)児童・生徒の通学体制確保のための、新たなスクールバスを購入する経費。
- (4)富野じん芥埋立処分場の機能改善を図るための経費。

などの予算を決議。

# 夕張市石炭博物館模擬坑道視察

昨年の火災後、消火の注水により水没し、水抜き作業を行っていた夕張市石炭博物館模擬坑道を夕張市議会行政常任委員会にて令和2年8月5日に視察いたしました。

この模擬坑道は本物の炭鉱跡を使った展示施設であり、明治時代に使われた本物の坑道でもありません。昨年の火災や、消火のための注水による内部の損傷状態も不明であり、崩れてもおかしくはない、安全性が十分に確保されている状況ではない現場となっておりますので、現在一般公開はされておりません。議員もヘルメットを装着のうえ慎重を期しての視察となりました。

内部では岩盤が崩落して鉄骨のアーチや柱も重さで折れ曲がり、土砂で進めない箇所もありました。最も崩落が激しい場所の手前では、8尺層が抜け落ちて、上部の6尺層まで

確認できるほどの穴がありました。再開に向けては安全性の確保や土砂堆積物の除去など、多くの作業が必要であることが予想されるところです。

今回確認した現状も踏まえ、専門家の意見や今後の調査状況も注視しながら、模擬坑道の復旧に関しての道筋を議会としても検討していくこととなります。

なお、博物館関連では、「改修に向け強度や崩落の危険箇所を探るボーリング調査」「博物館敷地内にある採炭救国坑夫の像の修復工事」について予算を議決いたしました。



# 厚真町視察

10月5日北海道胆振東部地震から2年が経過し災害復旧工事が進んでいる厚真町の吉野・富里地区の斜面工事の様子と災害公営住宅の建設状況を視察してきました。

地震発生後に、報道各社のヘリコプターから撮影された、厚真町の大規模な崖崩れの映像は、あまりにショッキングでしたが、実際に現場を視察し、その被害の甚大さを実感しました。

今回視察できた現場は生活幹線道路近くの10年以上経過した現在でも、復旧工事に取掛かることのできていない現場が多数あることを考えると、震災からの復旧・復興にはまだまだ多くの時間と費用が必要となることは、想像に難くありません。

夕張市内には、土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域に指定されているエリアが多数存在しています。市民の命を守るまちづくり、安心・安全に暮らし続

けることのできるまちづくりの必要性を再認識させられる現場視察となりました。

災害公営住宅は、自宅が損壊し、自力再建が難しい世帯向けに整備する住宅で3地区（上厚真・新町・本郷）に32戸建設されていきました。この災害公営住宅を建設するに当たり厚真町は、新たな生活をスタートさせるために、以前の生活と変わらぬ充実した時間を過ごすために必要なのは何かを考えた。必要なのは、心身の健康です。充実した浴室空間と空気のきれいな居住空間機能が整備された住居②安心・安全に住まうために、簡単に住まうために、簡便で安全な機器類が選定されている。また、火災へのサポートが充実された住居③もしも

の災害のために停電時の電力確保のために、屋外に外部入力コンセントが設置された住居④自分の住まいかた・生活を楽しまうために、一軒家に近い環境、住まいかた

の自由度を提案する住宅として整備されていて、菜園づくりや趣味、ペットとの生活も楽しむこともできるような住居⑤入居される方は胆振東部地震の震災以後、自宅を離れ避難所から仮設住宅へ、そして災害公営住宅へと2年の間に周囲が目まぐるしく変化する環境におかれ、ようやく恒久的な住まいで新たな生活を送るために新たなコミュニティ作りの場等の機能・特徴を持った住宅となるよう考えて建設されていきました。



夕張市の今後のまちづくり・住宅施策の参考にしたいと考えます。

## 議長寄稿

第3回定例市議会（9月）も終わり、10月の臨時市議会において補正予算が可決されたところで、この補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策が中心となるものです。

市内では10月15日夕張市消防本部において7人の陽性者が確認されました。この事実を冷静に受け止め、しっかりと感染予防対策をしていくことが大切です。全国的にも未だ新型コロナウイルス感染症の終息が見えておりません。議会でも市民の皆様との意見交換会等を計画しておりましたが、見合わせているところがあります。

今から取り組むべきことは、再生団体卒業後を見据えたまちづくり、市政のあり方を常に協議・議論を重ねていくことが大事だと考えております。8名の議員に対し気軽に声をかけていただければ幸いです。

### 夕張市議会だより編集委員会

委員長	今川和哉
副委員長	熊谷桂子
委員	君島孝夫
委員	大山修二
委員	本田靖人
委員	千葉勝子
委員	高間澄子